

都道府県名：広島県

【経営の概要】

作物 いちご（品種：さちのか）作型：促成栽培（高設栽培）

定植：9月20日 収穫12月末～6月上旬

栽培面積：8a

【対策の内容】

最低気温の設定を7℃から5℃に落とし、休眠抑制の手段として厳冬期（1～2月前半）の電照時間を30分延長した。

【対策の費用対効果】

1 概要

平成19年度は12月～2月の気温が18年度に比べて低く経過したことから最低気温を2℃下げたことが灯油の消費量の削減量は6.2%にとどまった。

また、生育が遅れ、年内出荷が出来なかった。

	取り組み前	取り組み後	B/C
燃料の種類と使用量	灯油 4,678L/10a	灯油 4,388L/10a	93.8%
加温に係る燃料費①	375,000円	412,400円	101%
対策に係る費用②	0円	2,565円	—
①+②	375,000円	414,956円	110.7%

【今後の課題】

1 低温に強い品種の選定。

2 段階的な夜温の設定など、細かい温度管理技術の確立。

【連絡先】

広島県 東部農業技術指導所 電話：084-921-1311